

平成 29 年度

公立大学法人

大阪市立大学看護師特定行為研修

募集要項



〒 545-8586

大阪市阿倍野区旭町 1 - 5 - 7

TEL06-6645-2501 FAX06-6646-6011

公立大学法人 大阪市立大学医学部附属病院 看護部

公立大学法人大阪市立大学は、特定行為研修の指定研修機関として現在申請中であり、平成 29 年 2 月に認可の見込み、4 月に開講予定としています。

1. 公立大学法人大阪市立大学看護師特定行為研修の特色

公立大学法人大阪市立大学は 1888 年に創設された大阪商業講習所を源流とした歴史ある大学であり、現在では 8 学部・大学院 10 研究科を有する日本最大の公立総合大学として、豊かな人材を輩出しています。

大学の附属施設である大阪市立大学医学部附属病院は医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づく病院理念を掲げ、地域医療の中核を担い、高度急性期病院としての役割を果たしています。

これらの特徴をふまえ、平成 29 年 4 月より急性重症患者を対象にした看護師特定行為研修「急性重症者（主に呼吸器）対応コース」を、5 区分別 9 行為に選定して開講します。研修は医学教育経験に実績のある医師を指導者として各科目に配置、シミュレーターが豊富にそろっている医学部スキルスシミュレーションセンターでの演習・実習など効果的な学習が実施できる体制を確保しています。また、共通科目では e ラーニングを導入し、就業しながら学習できること、大阪市内に立地しておりアクセスが良く通学しやすい環境にあります。

大阪市立大学医学部附属病院理念

大阪市立大学医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき

- 1) 市民の健康に寄与する質の高い医療を提供する
- 2) こころ豊かで信頼される医療人を育成する
- 3) 医療の進歩にたゆまぬ努力を続けることを使命とする

2. 特定行為研修（急性重症者（主に呼吸器）対応コース）の教育目的

本院の理念をもとに、質の高い安全な医療が提供できる優れた実践能力、高度な専門知識を有し医学・看護の視点から多様な臨床場面において役割モデルとしての実践力を発揮でき、「チーム医療」を推進できる調整力、問題解決能力を有する看護師を育成する。

3. 特定行為研修（急性重症者（主に呼吸器）対応コース）の教育目標

- 1) 地域医療または高度先進医療の現場において、重大な病態の変化や疾患を包括的にアセスメントし当該特定行為を行うための知識、技術、態度の基礎的な能力を養う
- 2) 患者の倫理面・安全面に配慮して、必要な特定行為を実施する基礎的な能力を養う
- 3) 円滑なチーム医療推進のため、多職種が高い専門性を発揮し、協働して効果的な問題解決ができるための調整役となれる能力を養う
- 4) 自己研鑽を継続し、医学的・看護的視点において看護実践を確立する能力を養う

4. 研修内容と時間数

研修は共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれています。共通科目は必須、区分別科目は選択制の研修となります。(別紙：研修進度の一例)

【共通科目】

e ラーニングでの講義は個別学習、演習・実習は月に 1～2 回程度の指定日に大阪市立大学医学部、または医学部附属病院に集合し研修を実施します。

【区分別科目】

大阪市立大学医学部附属病院の急性重症、救急領域部門で実習を行います。共通科目を修得後に選択した区分別科目を履修します。区分別科目は複数選択することができます。

共通科目（必須研修）時間数には試験時間も含む

共通科目名	総時間数	講義 (eラーニングにて個別学習)	演習・実習 (集合研修)
臨床病態生理学	45 時間	43 時間 (試験時間含む)	2 時間(演習)
臨床推論	46 時間	37 時間 (試験時間含む)	8 時間(演習) 1 時間(実習)
フィジカルアセスメント	46 時間	41 時間 (試験時間含む)	3 時間(演習) 2 時間(実習)
臨床薬理学	45 時間	36 時間 (試験時間含む)	9 時間(演習)
疾病・臨床病態概論Ⅰ	45 時間	41 時間 (試験時間含む)	4 時間(演習)
疾病・臨床病態概論Ⅱ	15 時間	11 時間 (試験時間含む)	4 時間(演習)
医療安全学	31 時間	21 時間 (試験時間含む)	9 時間(演習)1 時間(実習)
特定行為実践	45 時間	25 時間 (試験時間含む)	12 時間(演習)8 時間(実習)

開講する区分別科目【選択科目：以下の区分から自由に選択可能】指定時間数（試験時間含む）

研修名	区分別科目名	学習内容	指定時間数
コース 急性重症者(主に呼吸器)対応	呼吸器(気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	24.5 時間
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更、非侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整、人工呼吸器からの離脱	70 時間
	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの) 関連	気管カニューレの交換	23.5 時間
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血、橈骨動脈ラインの確保	36.5 時間
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	39 時間

*区分別科目は、1名の患者に複数の特定行為が実施される場合は同時進行で研修を実施します。
そのため、複数科目を選択した際の履修時間は、指定時間の総合計を履修する必要はありません。

5. 研修期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 1 年間

前期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日 (共通科目履修期間)

後期：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 (区分別科目履修期間)

選択した区分別科目数によって研修期間は異なります。

集合研修・実習時間 8:30～18:00 (状況に応じて調整実施)

6. 修了要件

本研修を修了するためには以下の要件を満たす必要があります。

共通科目履修後の筆記試験に合格し、特定行為区分別科目履修後に実技試験、実習の観察評価、筆記試験などの科目ごとの合格を要件とします。

なお修了判定は特定行為研修管理委員会で行われます。

7. 募集要件

看護師特定行為研修の応募に当たり下記の要件、すべてを満たしていることが必要となります。

- 1) 日本国の看護師免許を取得しているもの。
- 2) 看護師経験年数が通算5年以上、かつ、希望する特定行為領域部門の看護経験が3年以上ある看護職。
- 3) 所属施設において特定行為研修中における協力、研修受講後の活動への支援が得られること。
- 4) 所属施設における看護師の特定行為を進める方針を含めた推薦理由を所属長から受けることができる。

8. 定員

定員 5名 平成29年度は指定枠、一般枠を設けて募集する

指定枠：大阪市立大学医学部附属病院に所属する看護職 3名まで

一般枠：上記施設以外に所属する看護職 約2名

9. 出願手続き

平成29年2月6日（月）～平成29年2月28日（火）必着

*募集要項、必要書類は公立大学法人大阪市立大学医学部附属病院 ホームページよりダウンロードしてください。

大阪市立大学医学部附属病院ホームページ [http// www.osaka-cu.ac.jp](http://www.osaka-cu.ac.jp)

10. 出願提出書類

(大阪市立大学医学部附属病院 ホームページより必要書類をダウンロードして下さい)

- 1) 看護師特定行為研修志願書 (様式1)
- 2) 履歴書 (様式2)
- 3) 志願理由書 (様式3)
- 4) 推薦書 (様式4)
- 5) 看護師免許証の写し 1枚
- 6) 受講審査料(12,000円 消費税含む)の振込用紙控え

*なお、提出された出願書類、受講審査料は返却いたしません。

振込先：三井住友銀行(0009)大阪公務部 (045)普通貯金

口座番号 「138651」 口座名 「公立大学法人大阪市立大学」

11. 出願書類提出方法

上記の出願書類を封入の上、封筒に「特定行為研修 志願書在中」と朱書きのうえ、以下の送付先に必ず「簡易書留」で送付するか、または直接持参してください。

(提出先及び問い合わせ窓口)

〒545-8586

大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号

公立大学法人 大阪市立大学医学部附属病院 看護部 看護師特定行為研修担当

TEL: 06-6645-2501 FAX: 06-6646-6011

12. 選考方法及び日時、場所

選考方法：書類審査および面接

日時：平成29年3月14日（火）14:00 開始予定

場所：公立大学法人大阪市立大学医学部附属病院 18階第1会議室

13. 合否発表

平成29年3月24日（金）本人宛に簡易書留にて郵送いたします。

14. 受講手続き

合格通知の際に、受講手続き及び研修受講料の振込についての詳細をご案内します。

受講手続き期間中に研修受講料の振込をお願いします。

なお、研修期間中においては「看護職賠償責任保険」の加入が必須となります。

受講手続き期間 平成29年3月27日（月）～平成29年4月7日（金）

15. 研修受講料

共通科目 受講料	特定行為研修別科目受講料				
	呼吸器（気道 確保に係る もの）関連	呼吸器（人工 呼吸療法に係 るもの）関連	呼吸器（長期 呼吸療法に係 るもの）関連	動脈血液ガ ス分析関連	血糖コントロ ールに係る薬 剤投与関連
¥306,000	¥60,000	¥73,000	¥63,000	¥64,000	¥46,000

*研修受講料は、共通科目研修受講料と許可された区分別科目の合計金額となります。

5区分すべての科目を受講の場合は¥612,000となります。

16. その他

出願及び受講手続きにより提供いただいた個人情報 は 厳重に管理し、受講選考業務、入学後の履修関係など必要な業務のみにおいて使用させていただき、それ以外の目的に利用することはありません。

区分別科目5区分すべてを履修する場合の研修進捗の一例

共通科目予定表(演習・実習1コマ1時間)			区分別科目実習予定表							
研修日	科目名	研修方法	研修日程	研修場所	研修方法					
4月7日(金)	オリエンテーション									
5月①	臨床病態生理学	演習①	10月	救命救急センター	シャドーイング中心					
		演習②			実技演習					
	疾病・臨床病態概論Ⅰ	演習①			救急病棟	講義(ベッドサイド)				
		演習②		学習会						
		演習③		患者を受け持ち実習						
5月②	疾病・病態概論Ⅱ	演習④	11月	中央手術部	講義・学習会					
		演習①			患者を受け持ち実習					
		演習②		集中治療室	講義・学習会					
		演習③			患者を受け持ち実習					
	演習④									
6月①	臨床薬理学	演習①	12月	ハイケアユニット	講義・学習会					
		演習②			患者を受け持ち実習					
		演習③								
		6月②		臨床推論	演習④	1月	休校			
					演習⑤					
					7月①		臨床推論	演習⑥	生活習慣病・糖尿病センター	講義
								演習⑦		患者を受け持ち実習
								演習⑧		
		7月②		フィジカルアセスメント	演習①	2月	観察評価補講日	患者を受け持ち実習		
フィジカルアセスメント	演習②									
	演習③									
8月①	医療安全学	実習①	3月	修了判定会議						
		実習②								
		演習①								
		8月②		特定行為実践		演習②	修了式			
						演習③				
						演習④				
						実習				
						演習⑤				
		9月①		特定行為実践		演習⑥				
実習										
実習										
演習⑦										
演習⑧										
演習⑨										
9月②	特定行為実践	演習⑩								
		演習⑪								
		実習								
		実習								

- ・区分別科目の研修期間は選択数によって異なる。
- ・区分別科目の研修期間は経験する症例数、内容によって変更することがある。
- ・区分別科目研修での経験する症例数は5例から10例程度を目安とする
- ・経験する症例数などが満たさない場合は2月を補講日とする。
- ・区分別科目の研修場所は各部署1名～2名までとする
- ・区分別科目の研修場所、日程の進捗は各研修生によって異なる。

* 特定行為実践における実習は内容により区分別科目内にて実施する。
 * 共通科目の進捗は学習内容によって変更することがある

各科目の修了試験は講義時間に含む